



Glencore 社による Teck 社の買収提案に関する当社コメント

Glencore 社が Teck Resources Limited (以下、Teck 社) に対して買収・統合を提案していることについて、日本製鉄株式会社 (以下、日本製鉄) は両社のプレスリリース等により認識しています。

日本製鉄と、カナダを代表する資源会社である Teck 社は、長い間の原料炭取引を通じて良好な信頼関係を構築してきました。

日本製鉄は、Teck 社からのスピンオフによって高品質製鉄用原料炭事業を引き継ぐ予定である Elk Valley Resources Ltd. (以下、EVR 社) に 10%出資する出資契約を締結したところであり、また、製鉄用原料炭のオフテイク権利契約の締結についても Teck 社と合意したところです。

日本製鉄は EVR 社の上場後に、最大 17.5%まで普通株の買い増しを行う権利を有していますが、これは、分社化後も EVR 社がその事業を通じて高い価値を創出し続けるポテンシャルがあると見ていることも理由となっています。

日本製鉄は、EVR 社が世界を代表するカナダの製鉄用原料炭の生産会社として、当社が今後カーボンニュートラルの実現に向けて必要とする高品質製鉄用原料炭を安定的に生産し続けるものと確信しています。また、今回の投資意思決定に際しては、EVR 社の炭鉱が高品質製鉄用原料炭を生産し、一般炭を生産していないことも重要な要因の一つとなっています。日本製鉄は、カナダ国外の一般炭資産と統合されることにより、EVR の世界有数の製鉄用原料炭資産の価値が損なわれることに重大な懸念を有しています。

日本製鉄は、カナダの高品質原料炭の主要需要家として、世界を代表するカナダの原料炭生産者となる EVR 社と、この機により一層長期・安定的な信頼関係を構築したいと考えております。

日本製鉄は、4月26日に予定されている Teck 社の株主総会において、現在 Teck 社より提案されているスピンオフ案が可決され、当社の EVR 社への出資を予定通り実現できることを希望しています。

以上

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2146、2977、3419、2135

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
Initiative